

1964から2020へ ～オリンピック今昔

東京1964大会の思い出



江の島を出発する聖火隊



オリンピックヨット競技の様子



分火リレー最終走者が聖火台に点火する様子

1964年の東京オリンピックに続き、本市が今年の東京2020オリンピック聖火リレーのルートに決まりました。聖火ランナーの応援など、大会を盛り上げてみませんか。

問い合わせ 東京オリンピック・パラリンピック開催準備室 ☎内線6311、FAX (50) 7200

オリンピック聖火リレー市内ルート図～聖火ランナーを応援しよう！



応援スポット

江の島北緑地
広場



神台公園



と き 6月29日(月) ※ともにイベントあり

東京オリンピック1964の聖火ランナー 関水正章さんインタビュー



Q.聖火ランナーとして走っていた当時のことを教えてください

A.僕は江の島観光センターで引き継ぎ、ヨットハーバーまで聖火を運びました。

とにかく無我夢中で走りました。親戚のおばあちゃんが涙を流して喜んでいました。



◀55年前に関水さんに届いた委嘱状

Q.東京2020大会へ向けて一言！

A.東京2020大会がスポーツの楽しさを知るきっかけになればよいと思います。

東京オリンピック1964と2020を比較してみよう！～金メダルとトーチ

1964年

東京1964オリンピック 金メダル

1928年アムステルダム大会から金メダルの裏表のデザインが標準化されました。表面は「競技場の上に座る勝利の女神ニケ」、裏面は「優勝した2人の息子に担がれるディアゴラス」が描かれています。

メダルの直径…60mm
本体重量…約90g



東京1964 オリンピック 聖火リレートーチ

点火しやすい・風雨に強いことなどの条件を前提に作製されました。

全長…630mm
重量…1012g



2020年

東京2020オリンピック 金メダル

夏季大会の金メダル表面は「ギリシャのパナシナイコスタジアムに立つ勝利の女神ニケ像」と決められています。各大会で微妙に異なっており、東京2020大会のメダルもーからデザインを制作しています。

メダルの直径…85mm
本体重量…約556g



Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

東京2020 オリンピック 聖火リレートーチ

日本人になじみ深い花である桜をモチーフとしています。

全長…710mm
重量…1200g



Photo by Tokyo 2020